

淑徳魂を燃やし、 アナウンサーとして 成長し続けたい。

伸びやかな愛知淑徳が 私を大きく育ててくれた。

愛知淑徳の6年間が、アナウンサーとして働く私の原点です。テレビ番組を大勢の仲間とつくり上げている今、学園祭や体育祭などの学校行事にみんなで熱中したときと同じ「ワクワク」を感じています。

在校中、私は好きなこと、興味があること

に積極的にチャレンジしました。それは、愛知淑徳の先生方が生徒の自主性を尊重し、何かを強要したり制限したりせず、一人

ひとりの個性を伸びやかに育んでくださったからだと感謝しています。中学時代はフルート同好会、高校時代はダンス部に所属。ジャンルは異なりますが、どちらも共通して「仲間と力を合わせてステージをつくる」かけがえのない時間になりました。さらに熱を入れて取り組んだのが、学園祭。最も思い出深い

のは高校の教室展示です。「世界の学校給食」をテーマに、各国の文化が表れる給食を一つひとつ紙粘土で制作し、博物館のような空間を生み出しました。完成までに仲間とぶつかり合うこともありました、「よりよい展示をつくる」とみんなが真剣だったからこそ、多様な意見を理解し合うことの大切さ、チームで目標に向かうことの楽しさを学びました。

**地元・名古屋の魅力を
多くの人に伝えていく。**

テレビ業界に関心を持ったのは、大学生のとき。テレビ局でのアルバイトがきっかけです。進学先の慶應義塾大学では社会学を学び、マスクミの研究に励んでいました。その傍らで実際の番組制作に携わり、愛知淑徳の学園祭で感じた「チームワークの楽しさ」を実感。将来は地元・名古屋のテレビ局で

働き、地域や社会のさまざまなニュース、毎日に役立つ素敵な情報を届けたいと考えるようになりました。その思いをかなえて東海テレビ放送に入社し、アナウンサーとなつて7年目。新人時代は口ヶや取材に多く出向き、各地のみなさんのあたたかさや東海エリアの魅力を再発見できました。その経験をふまえ、5年目から平日朝の情報番組『スイッチ!』のMCとして毎日楽しく本番に臨んでいます。また、サッカー中継も担当。中学生の頃からの「大好きなサッカーに関わる仕事がしたい」という夢も実現できても幸せです。

『スイッチ!』は、カフェがテーマのカラフルなスタジオから生放送。本番前、台本を入念に読み、言葉のアクセントなども確認します。

高3の体育祭では、担任の天野先生の仮装をクラスみんなで準備。生徒も先生も一緒になって盛り上るのが、愛知淑徳の魅力です。



東海テレビ放送株式会社
アナウンサー 恒川 英里さん

愛知淑徳高等学校を2008年3月に卒業後、慶應義塾大学文学部人文社会学科社会学専攻で学ぶ。2012年に東海テレビ放送に入社。アナウンサーとして経験を重ね、2016年から情報番組『スイッチ!』(毎週月~金・朝9:50~11:15)のMCを務める。